平成２５年度　事業報告

自　平成２５年　４月　１日

至　平成２５年１２月　１日

財団法人　亀田郷地域センター

目　　次

１．一般財団法人への移行完了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２．「農家の先進的な取り組みを支援する」・・・・・・・・・・・・・・・２

（１）先進農業助成

（２）先導的農家支援

①新潟農業経営塾

②食と花の交流センター・アグリパーク

③生産加工販売戦略

（３）調査・研究

①精密農業

３．「都市機能と環境が調和し農業が栄える街をつくる」・・・・・・**４**

（１）地域づくり助成

（２）地域づくり活動支援

４．受託事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**６**

（１）土地賃貸借事務管理

５．その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**６**

①家族田植え・稲刈り体験交流会開催

１．一般財団法人への移行完了

平成２５年１２月２日の設立登記をもって、当センターは一般財団法人への移行が完了しました。

平成２５年１１月１９日　新潟県知事より移行認可

平成２５年１２月　２日　設立登記及び財団法人の解散登記
（一般財団亀田郷地域センター設立の日）

２．「農家の先進的な取り組みを支援する」

この事業は、自ら創意工夫し農業の可能性を追求する農家を支援することを目的としている。

（１）先進農業助成

「先進農業助成」は、農産物直売所の開設、名産品の育成、環境保全型農業などに取り組む亀田郷の農家グループを支援している。実績は以下の通りである。

工　区	申請団体	事業内容	事業費(円)	助成額(円)
亀　田	あしぬまカントリー	鉄コーティングによる直播き栽培で、省力化、低コスト化、減農薬、環境保全を図る	782,250	267,000

（２）先導的農家支援

地域農産物のブランド化、農業者と消費者の交流拡大、農業の６次産業化、農産物の加工・直売・輸出などに取り組む農家の活動を支援する。

①新潟農業経営塾

新潟大学伊藤忠雄名誉教授を主宰に、４回の「新潟農業経営塾」を開催し、合計３４０名の聴講者を動員した。

開催日	講　　師	参加者数
平成２５年 ４月３日	大潟ナショナルカントリー　代表理事　竹田香苗　氏 （上越市大潟区）	９０名
６月５日	飯塚農場　　代表　飯塚恭正　氏 （南魚沼市）	９７名
８月７日	山波農場　代表取締役社長　山波剛　氏 （柏崎市）	８４名
１０月２日	(株)神谷生産組合　代表取締役　丸山信昭　氏 （長岡市神谷）	６９名
		合計 ３４０名

②食と花の交流センター・アグリパーク

新潟市食育・花育センターが事務局を務める新潟市教育ファーム市民交流会議に参画し、農業団体の立場から、同交流センターやアグリパークの利活用等について提言した。

また、この２つの施設に開設される、直売所・レストランの出店者評価委員として参画し、提言を行った。

③生産加工販売戦略

《アロニア》

１）収穫量　　４．９ｔ（昨年比約２倍）

２）販売商品

○「アロニアりんご酢ダイエット」（発売 H23.12 ～）

○「アロニア甘酒」（発売 H24.11 ～）

○「アロニアシロップ煮」（発売 H25.11 ～）

３）その他取り組み

○新潟市亀田学校給食センターとの連携が確立

給食に、「アロニアソース」をかけた鶏肉が出された。（H25.12）

（３）調査・研究

①精密農業

農産物の品質向上や栽培技術の継承を図るための方法として有効な、精密農業の普及を目的とした実証実験を行った。郷内３カ所の田んぼに定点カメラと温度・湿度計を設置し、画像や各種数値のデータ化に取り組んだ。

３．「都市機能と環境が調和し農業が栄える街をつくる」

この事業は、農作業がしやすく、農業者とその家族も暮らしやすい地域環境をつくることで“街の調和ある発展”を実現し、農業振興への側面支援とすることを目的とする。

（１）地域づくり助成

「農業の祭典」、「文化財の保存」、「歴史や人物などの顕彰」、「地域づくりたよりの発行」、「農業文化の核として歴史的にも価値が認められ、且つ地域で管理している施設の改築・補修等」、５つのメニューを対象として助成した。

工　区	申請団体	事業内容	事業費(円)	助成額(円)
横　越	藤山分区・駒込分区	たけのこﾌｪｱﾌｼﾞｺﾏ	965,197	100,000
大江山	大江山工区 (すごぼり桜まつり協賛会)	すごぼり桜まつり	500,955	100,000
	大江山工区 (大江山地域づくり推進委員会)	地域づくりだより	168,000	168,000
	大江山工区 (大江山文化とｽﾎﾟｰﾂの祭典実行委員会)	大江山文化とｽﾎﾟｰﾂの祭典	838,665	100,000
亀　田	亀田工区 (新潟地区梨振興協議会)	梨の実まつり	843,896	100,000
	亀田工区 (かめだ梅まつり実行委員会)	かめだ梅まつり	943,939	100,000
	下早通分区	下早通の歴史を伝える集落誌及び川根潟跡石碑建立	7,365,130	1,000,000
両　川	両川工区 (酒屋町商工会)	ゆめ祭り酒屋	1,476,477	100,000
曽野木	曽野木工区 (丸潟新田みどりの会)	紫陽花祭り	234,289	100,000
	曽野木工区 (曽野木地域づくり推進委員会)	地域づくりだより	195,300	195,300
	天野分区	天野帝釈天社殿改修工事	6,338,480	1,000,000
	上沼分区	上沼の歴史を伝える集落誌	278,496	54,000
石　山	石山工区	健康まつり	6,868,329	100,000
		合　　計		3,217,300

（２）地域づくり活動支援

理想的な生産環境を保ちつつ、街全体を発展させることにより、農家の生活向上と農業振興を図るため、亀田郷土地改良区の各工区と連携し地域づくり活動を推進した。

①鳥屋野潟環境啓発

鳥屋野潟が担う、水害防止の調整池機能、生態系維持、都市の温度上昇抑制などの多面的な役割を啓発し、鳥屋野潟への市民の理解を高めるため、「鳥屋野潟環境啓発事業」を実施した。
活動内容は、鳥屋野潟で行われる小学校や環境団体の活動への協力と「板合わせ」による親水体験を中心に行い、活動は本財団が企画立案し、実施を鳥屋野潟漁協へ委託した。

②健康管理助成

農家の定期健康診断の受診率向上を目的として、１人当たり五千円を基本として５３１名に助成し、総額２，６５２，６００円を支出した。

（３）都市と農村の調和のとれた土地利用

①鳥屋野潟南部開発計画の推進

環日本海地域の拠点としての文化・産業交流、及び都市と農村の融合・交流を図る拠点を形成するため、鳥屋野潟南部開発計画を支援した。

ａ．国際文化・教育ゾーン

土地利用に関する構想を調査・研究した。

ｂ．住居ゾーン

住居ゾーンに関係する、土地改良区工区・地権者等と連携して土地利用に関する構想を調査・研究した。

３．受託事業

（1）土地賃貸借事務管理

鳥屋野潟南部開発区域 国際文化・教育ゾーン内の ㈱アルビレックス新潟と地権者の間にて締結された借地契約について、土地賃貸借事務管理を昨年に引き続き受託した。

４．その他

①家族田植え・稲刈り体験交流会開催

亀田郷土地改良区脇の圃場で、家族田植え・稲刈り体験交流会を開催、昔ながらの手植えや鎌での刈り取り作業を一般の方々に体験していただいた。

田植え体験交流会：１９１名参加
稲刈り体験交流会：１６８名参加